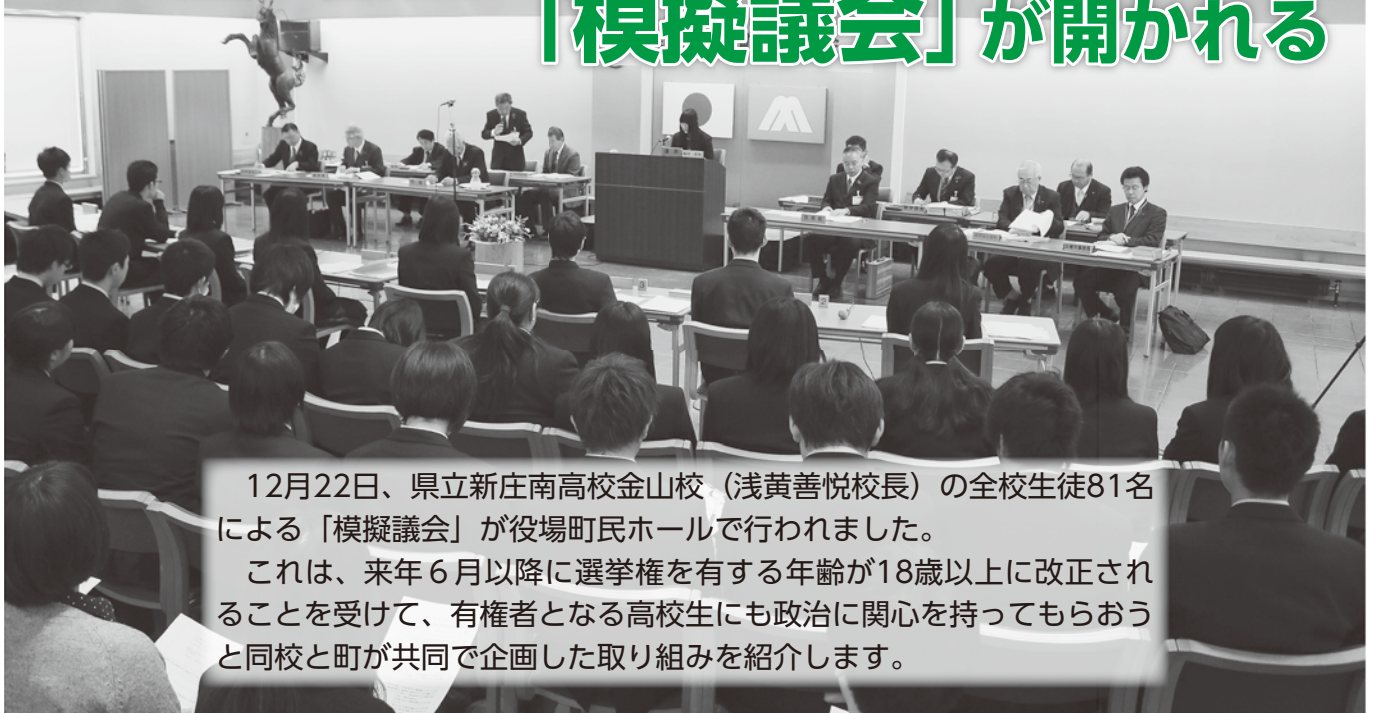


新庄南高 金山校の生徒 による 「模擬議会」が開かれる



12月22日、県立新庄南高校金山校（浅黄善悦校長）の全校生徒81名による「模擬議会」が役場町民ホールで行われました。

これは、来年6月以降に選挙権を有する年齢が18歳以上に改正されることを受けて、有権者となる高校生にも政治に関心を持ってもらおうと同校と町が共同で企画した取り組みを紹介します。

注目度が高いこともあって多くの

君（1年・上台）は、「練習もしてきたが緊張した。本番ではうまく話すことができ、貴重な経験をさせてもらった。町職員の皆さんに感謝したい」と安堵の表情。



若い世代のアイディアを活かした町産野菜の販売戦略について質問に立った正野利一郎

9人の高校生議員が一般質問に挑戦。町の課題を調べ、全国の事例を紹介したり自身の考えをしっかりと質問する姿に、町の執行部も真剣に答弁しました。

模擬議会では、事前の学校内選挙で当選した4名を含む10名の高校生議員の中から1名の議長を選出。福田奈央さん（2年・十日町）が議長役を務め議事を進行しました。



報道関係者や傍聴者が会場を訪れました。傍聴された方の一人は、「高齢者の生活に対して高い関心を持つ生徒が多いのが意外だった。町のことを調べ、よく考えていたし立派な質問だった」と高校生の取り組み姿勢を称賛。

浅黄校長は、「全校生徒でこれだけ多くの町の方々が参加してくださった模擬議会は、県内でもここだけだと思う。これまで長年積み上げた町と学校の密接なつながりを感じた。質問した生徒たちは自覚をもってしっかりとやり遂げてくれた。町の協力に感謝している」と成果を振り返りました。

高校生のフレッシュな感覚による一般質問は、町づくりに爽やかな風を吹かせてくれました。提案のあった内容は、現在編成中の平成28年度当初予算に反映させることも検討中です。

未来の金山を担う若い世代が、政治に町づくりにより一層関心を持ち、金山に愛着を持って住み続けてもらえることを願います。

新庄南高金山校の皆さん、教職員の皆さんご協力ありがとうございました。これから金山校の益々の発展を期待します。